研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-52C		17-062	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

Alcohol consumption and early-onset risk of colorectal cancer in Japanese patients with Lynch syndrome: a cross-sectional study conducted by the Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum.

日本人リンチ症候群における飲酒と早期大腸癌発症の関連の検討

執筆者

Miguchi M, Hinoi T, Tanakaya K, Yamaguchi T, Furukawa Y, Yoshida T, et al.

掲載誌

Surg Today. 2018 Aug;48(8):810-814. doi: 10.1007/s00595-018-1654-7.

キーワード	PMID
飲酒　大腸癌　日本人　リンチ症候群	29574523

要　旨

目的：

日本人リンチ症候群患者において飲酒が早期大腸癌発症に及ぼす影響を解明する。

方法：

MLH1, MSH2, MSH6 の遺伝子変異をもつ日本人リンチ症候群 66 人を対象に、早期大腸癌の発症リスクと飲酒習慣、喫煙習慣、性別、BMI、遺伝子変異型（MLH1, MSH2, MSH6）、大腸癌家族歴との関連をコックス比例ハザードモデルにて検討した。

結果：

飲酒習慣は早期大腸癌発症と統計的に有意な関連を示したが、喫煙習慣は関連を認めなかった（早期大腸癌発症ハザード比（95%信頼区間）; 飲酒習慣あり 2.44 (1.13-5.16), 喫煙習慣あり 0.8 (0.38-1.62)）。

結論：

日本人リンチ症候群患者において飲酒習慣は早期大腸癌発症に影響を及ぼしていることが明らかとなった。